

**兵庫県協会総会開催****会長に砂田重民氏再選**

昭和63年度兵庫県サッカー協会評議員総会は6月5日、三木記念神戸市立スポーツ会館会議室において、砂田重民会長が出席し盛大に開催された。

議事は、瀬川幸一副会長が議長に指名され、第一号議案、昭和62年度事業報告 第二号議案、昭和62年度決算報告を可決承認したのを経、新役員の改選が行われ、会長に砂田重民氏が選出され、以下、副会長に吉江経雄氏と瀬川幸一氏が、監事に安居律氏、小崎忠男氏らが選出された。

理事52名が別表の通り選出され、理事会の推挙により高砂嘉之氏が理事長に決定し、新しい執行部が選出された。常務理事では、中学委員長の白石幸夫氏が退任し、山名康雄氏が新委員長に決定した。他の常務理事に変更はなかった。

役員選出後引き続き、第三号議案、昭和63年事業計画案、第四号議案、昭和63年度予算案を可決承認し、議事を終了した。

その後、北摂支部の岡田理事長から、北摂支部の現状について、北摂支部が有名無実の組織であり、自分自身今のが支部制度に疑問を持っているので検討してほしいとの主旨で提案があった。この件では、前野正都市会委員長と高砂理事長より発言があり、これから北摂支部の構成都市代表や関係の専門委員会代表と協議して善処改善することになった。

**昭和63年度 兵庫県協会 役員名簿**

理事長	高砂嘉之	津川昌治	中村寿男	前野 正
常務理事	河北穎数	浅堀保彦	岡村 敬	
	皆木吉泰	佃 幹夫	師田二郎	
	西林恵三	一北四郎	五島祐治郎	
	高橋敏雄	一北保五郎	藤原 恵	
	恵藏	立花専治	長岡康規	
	力夫	桐原正記	八木 寛	
	藤田利明	岡本隆英	山名康雄	
	大黒一弘	野上昭武	松永隆四郎	
	伊藤 直	田中和泰	石田健郎	
	中西 勇	畠岡快一	河内慎一	
	藤間良章	柏原正明	山下隆生	
	上田幸司	瀬川善耕	溝口 薫	
	山下孝司	鳴瀬良一	佐藤敏雄	
	松岡隆男	大橋慈郎	塚原忠雄	
	小島和夫	黒田和生	山本幸夫	
	播磨壯大	山下俊雄	澤井正彦	
	木村 潔	細見昌宏	藤原浩之	
	伊庭吉和	加藤 寛	花峯伸行	
	浅野正倫	山本 実	古結玄修	
	細谷一郎	山根 誠	小松 実	
	森田哲哉	林 啓司	藤原浩之	
	岡田和法	三阪公郎	八木重光	
	鄙山 明	山根由雄		
	川並浩司	島津良則	水野 効	
	中桐俊男			

**有宏スポーツ**

東灘区御影本町4丁目11-9  
阪神御影駅南側西へ30m

**審判委員会よりお知らせ…No.11****講習会**

[少年] 生徒対象の線審講習会を次のとおり行います。

(東地区) 7月2日(土) 14時  
灘生協生活文化センター

(中地区) 6月11日(土) 15時  
蓮池小

(北地区) 7月2日(土) 14時  
神戸甲北高

(西地区) 7月2日(土) 14時30分  
高倉会館

[高校] 同じく生徒対象の線審講習会を次のとおり行います。

(東地区) 6月19日(日) 9時  
東灘高

(中地区) 6月26日(日) 9時  
鈴蘭台高

(西地区) 6月26日(日) 9時  
高倉会館

神戸高塚高  
以上の講習会の詳細については、該当の各委員会担当者に紹介して下さい。

**トピックス**

本年度、五大都市体育大会(名古屋市)には、中桐俊男氏(2級)が審判員として派遣されます。

**ルールをめぐって ⑧**

第8条 競技開始

第8条にはキックオフと、いわゆるドロップボールについての規定が書かれています。

キックオフが正しく行われるためには、  
①競技場の中央に静止させたボールを  
②相手側半分に入れる  
③それぞれのチームは、キックオフが行われるまでは味方半分にいる  
④相手側は、ボールから少なくとも9.15m  
離れる

⑤ボールは外周の長さ移動してからインプレーとなる

などの条件が必要ですが、厳密にいうと、これらに違反していることもあります。たとえば、ボールが20~30cm動いたところで、次の人方がプレーする。キックオフが行われないうちに、ウイニングの選手がスタートして相手側に走りこむ等々……。

なお、キックオフのボールを大きくけって直接相手ゴールに入ったときには、得点にはなりません。もちろん、一人が小さく前方にけり、もう一人がシュートしたような場合(以前の高校選手権で小松選手(西日農高ヤンマー)が得点したことがあります)や、キーパーが触れて入った場合は得点となります。

(問・直接ゴールに入ったときの再開方法はどうしますか?)  
ドロップボールは、ボールがタッチラインまたはゴールラインを越えなかった場合で、競技規則に規定されていない事由で競技が一時的に中断されたとき、再開する方法です。たとえば、重傷者が出て緊急に処置をせねばならないのに、プレーが続いている。事故や災害が発生して試合が中断された。審判が負傷して動きなくなったり。主審が誤って笛を吹いた。などの事態がこれに該当すると考えられます。もっとも、最後のようなことが起こってはいけませんが……。

もちろん、ルールの中にも、観客など外部の要因によって妨害された(ペナルティキックが行われている場合を除く)場合、交代要員が主審の許可をえずに競技場内に入った場合など、ドロップボールで再開されることで定められている場合があります。

なお、ドロップボールは、競技が中断されたときボールのあった地点で行うのが原則で、不用意なところで中断すると混乱のもととなりかねません。また、ボールをドロップするときに両チームの選手を呼びよせる必要はありませんが、不公平にはならぬよう配慮する必要があります。

(文中の問の答・ゴールキックで再開)

**神戸市社会人運営会議予定****次回 7月21日(木)**

18時30分から神戸市立勤労会館4階会議室。社会人リーグに参加している各チームの代表者は必ず一人出席して下さい。

**個人購読のご案内**

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10  
三木記念神戸市立スポーツ会館内  
神戸市サッカー協会 078-232-0753

なお、数人まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。

**スメラ**

078(412)2601 游川店 游川プラザ2階  
鈴蘭台店 ダイエー西側 078(511)2234

**加茂トアロード店**

078(576)0870 中央区三宮町3-8-8  
JR元町駅南側東へ100m 078(392)0234

**サッカーショップPKF**

078(391)0895 中央区下山手通3丁目3-10 078(332)5519

**ワールドスポーツ**

078(391)0896 東灘区深江北町4丁目7-3 078(453)2186

**ヤノ運動用品**

078(391)0896 本店 中央区三宮町3-8-1 078(391)1121  
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 078(331)4578

六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

**ユハイム****'88兵庫総体****県代表に御影工と八代学院**

1988 6月号

発行所 神戸市サッカー協会  
神戸市中央区八幡通2-1-10  
三木記念神戸市立スポーツ会館内  
〒651 078-232-0753  
発行人および編集人 一北 四郎  
神戸市灘区上野通6丁目3-12  
〒657 078-861-3100

毎月1回10日発行 購読料1部50円

**第32回兵庫県高校総体 決勝リーグ戦**

総合球技場 6月4日、5日、6日

	御影工	八代	滝二	須磨東	勝点	順位
御影工高	△ 0-0	△ 1-1	○ 4-0	4	1	
八代学院	△ 0-0	△ 1-1	○ 2-0	4	2	
滝川第二	△ 1-1	△ 1-1	△ 0-0	3	3	
須磨東高	× 0-4	× 0-2	△ 0-0		1	4

**決勝リーグ最終戦**

御影工 4 { 1-0 } 0 須磨東

**監督の抱負**

6月6日、3時30分の決勝リーグ最終戦を前にこの試合に勝つか、引き分けならば、全国大会への出場が決まることがわかっていたが、絶対に、この試合に勝つて決めようと選手を送り出した。

父母、教師、学友達の大聲援を背に、選手達は持てる力を充分に發揮して、須磨東に、4-0で快勝し、3年ぶり3度目の優勝を飾ることができた。

新チームになってから、ねばり強い守備とスピード感ある攻撃という課題を克服するため、春の静岡遠征や兵庫招待大会などで数多くの試合を消化してきた。

今大会では8試合で失点1という安定した守備をみせ、目標に近づきつつあることを実感した。そして、これが勝因の一つであることは間違いない。

3校にねらわれる形になった須磨東にとつてこの3連戦はホームの利はあるにしても大へんな経験だった。最終戦には力尽きて得点を許したもの、第1戦の滝川第二には一步もゆずらず渡り合った。地域少年団出身選手の努力と共に、元日本ユース代表選手の桜木監督のリエカ・ユース大会をはじめとする、大試合での豊富な得点感覚がやっと選手に浸透し、攻撃面で生かされていた。

さて、全国高校総体では昨年の兵庫県代表校がベスト4に進出しているので、何とかしてベスト8までは残りたいと思っている。幸い、エースストライカーの久保田のケガが治り復帰できたので、得点力のアップが期待できる。そこで、ねばり強い守備をさらに安定させ、速攻に、より以上の磨きをかけるために残された日数を有效地に使いたい。

良い準備をして、ぜひとも目標を達成したい。



大会前から実力伯仲といわれていた滝川第二、八代学院、御影工の3強は予想通り勝ち進み、快進撃を続けている須磨東高を加えた4校で戦われる決勝リーグは、激戦が予想された。

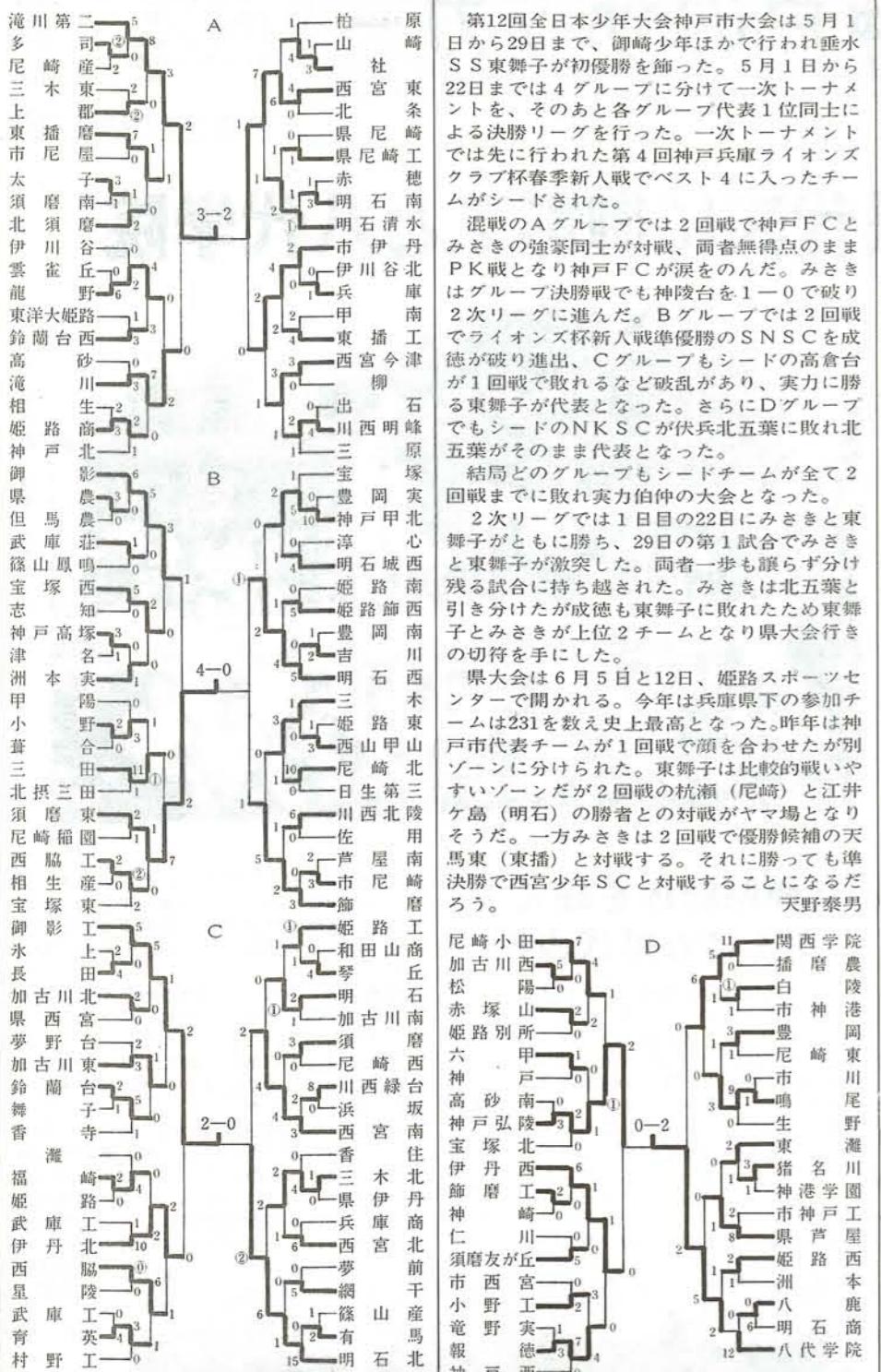
決勝リーグの第一日目は各校とも負けられない意識が強く作用して、結局、2試合とも0-0の引き分け混戦となつた。

第二日目は滝川第二、御影工は1-1で引け分けたが、八代学院は2-0で須磨東をくだけし一歩リードした。

決勝リーグ最終日は滝川第二と八代学院が1-1で引き分けた。それに対し御影工は4-0で須磨東に快勝した。この結果、得失点で御影工が上回り、3年ぶり3度目の優勝を決めた。八代学院が準優勝し、この2校が地元で開催される全国高校総合体育大会に、兵庫県代表として出場する。

なお、御影工、八代学院、滝川第二は7月22日から、水口市で開催される近畿高等学校選手権大会に出場するが、それぞれ、各大会で兵庫県大会での連

## 昭和63年度 第31回 県高校総体結果

全日本少年 東舞子初優勝  
神戸市大会

御影工 メンバー 八代学院 メンバー

顧問		八木重光	八木重光
G K	1 石井 良樹	3年	G K 1 熊本 幸二 3年
D F	7 小村 博和	3年	15 橋崎 真利 3年
M F	4 広田 剛	3年	③ 中川 浩二 3年
F W	5 小坂 忠宏	3年	4 亀井 隆男 3年
SUB	13 渡辺 充昭	3年	19 川崎 利朗
	町 輝男	3年	佐伯 輝彦
	9 大野 耕嗣	3年	岩波 幸二 3年
	20 小椋 賢示	3年	17 橋本 忠久 3年
	10 中田 成一	3年	10 宮谷 雅之 3年
	8 園川 二春	3年	11 堀川 敬二 3年
	11 豆 成修	2年	14 相見 靖治 3年
	12 西河 内武志	2年	12 上林 弘幸 3年
	6 花田 熱	3年	2 上川健一郎 3年
	16 小崎 英雄	3年	6 神谷 哲生

株式会社 モルテン  
広島 / 東京 / 大阪 / 名古屋 / 福岡 / 札幌

## みさきメイン芝の張り替え

神戸市中央球技場は加藤正信現神戸市協会副会長が先頭に立って連日のようすにサッカーグラウンド建設を神戸市長らに働きかけ、その熱意が実って昭和45年にやっと完成した。

以来、来日したフットボールクラブの役員選手は愛情を込めて手入れをし、刈り込まれたグラウンドに東洋一の評価を惜しまなかつた。ペレ、エウゼビオ、ベッケンバウアー、釜本、ヨハン・クライフ、マラドーナらが、わずかなすきを突いて華麗なフェイントを駆使し、目のさめるようなシュートを放つた。

イングランドのバーテンショード氏が、レフエリーはボールの近くで判定するのだと、反則した選手もななくする走りを見せたのが、ついこの間のことのように目に浮かぶ。みな美しい芝生の上でこそ生まれたプレーだった。

昨年の秋から早春にかけて、アメリカン・フットボール、ラグビー、サッカーと、芝の回復力を上回る使用に耐えかねて、土ぼこりが立つようになった。待ちに待った暖かい雨が降る季節になっても中央附近はかれたままで、新らしい芽はついに出てこなかった。

結局どのグループもシードチームが全て2回戦までに敗れ実力伯仲の大会となった。

2次リーグでは1日目の22日にみさきと東舞子がともに勝ち、29日の第1試合でみさきと東舞子が激突した。両者一步も譲らず分け残る試合に持ち越された。みさきは北五葉と引き分けたが成徳も東舞子に敗れたため東舞子とみさきが上位2チームとなり県大会行きの切符を手にした。

県大会は6月5日と12日、姫路スポーツセンターで開かれる。今年は兵庫県下の参加チームは231を数え史上最高となった。昨年は神戸市代表チームが1回戦で頭を合わせたが別ゾーンに分けられた。東舞子は比較的戦いややすいゾーンだが2回戦の杭瀬(尼崎)と江井ヶ島(明石)の勝者との対戦がヤマ場となりそうだ。一方みさきは2回戦で優勝候補の天馬東(東播)と対戦する。それに勝っても準決勝で西宮少年SCと対戦することになるだろう。

天野泰男

天に天国あり  
地にフットボールあり

&lt;12&gt;

## 上野 勝幸

ブレストとの試合を前に、ペロドローム・スタジアムはマルセイユのサポーターに「制圧」されていた。84年欧洲選手権の準決勝、ボルトガル戦の延長終了1分前、プラティニが歓喜の決勝ゴールをかけこんだ舞台がここだった。

フランス。鼻から空気が抜けるようなこの言葉の響きに日本人は弱い。「文化・芸術の国」へ、初恋にも似た淡い思いがつのる。欧洲で最も広い国土を持つフランスの大陸部は、直徑約千キロの内におさまるような六角形をしている。

マルセイユ(フランス)

せば窮屈だ。兎角に人の世は住みにくい」と、つぶやいているかどうかは知らないが、主審を務めた夜は疲れがどつと出で、とりわけ出来の悪いワインをがぶ飲みしたあと「三日酔い」で寝こむのだろうか。

意外にも2-2の引き分けに終わったこの試合を、常にリードしたのはブレスト。ブレストに押しかられ

ルールと審判(1)

その試合を辛うじて持ちこたえたのは、サポーターたちの「念力」だったという感がしないでもない。マルセイユの2点はいずれも前半の終了直前に得たフリーキックから絞り出したものである。マルセイユ側に有利な笛が吹かれなければ「キン」というジェット機のエンジン音のような歓声が、幾重もの衝撃波となって、主審の全身に襲いかかる。

モード、シャンソン、トーキー、絵画、フランスは朝に夕に表情を演じ分けるが、フットボールを抜きに

してフランスは語れない。主審は引取る商売だ。選手は被害者意識の凝り固まりだから、両チームから等しくモテることはまずない。その上、大観衆と付き合わなければならないのだから大変だ。だが、ホームのチームにおもねたり、遠来チケットと三銃士を組んだアラン・ジレスが「オリンピック・ド・マルセイユ」にいる。

ボールゲームの構造的分類

ボールゲーム

攻守一体型

身体接触容認型

(フットボール、ラグビー等)

身体接触禁止型

(ハンドボール、バスケットボール等)

対面型

(バレーボール、テニス、卓球)

交替型

(野球、クリケット、アメリカン・フットボール)

(ゴルフ、ボウリング)

記録追求型

ヨーロッパ2カ月の旅

&lt;12&gt;

## 上野 勝幸

ヨーロッパの帆柱が林立するマルセイユの旧港には、水揚げされたばかりの海の幸が並んでいる。

フランス。鼻から空気が抜けるようなこの言葉の響きに日本人は弱い。「文化・芸術の国」へ、初恋にも似た淡い思いがつのる。欧洲で最も広い国土を持つフランスの大陸部は、直徑約千キロの内におさまるような六角形をしている。

マルセイユ(フランス)

せば窮屈だ。兎角に人の世は住みにくい」と、つぶやいているかどうかは知らないが、主審を務めた夜は疲れがどつと出で、とりわけ出来の悪いワインをがぶ飲みしたあと「三日酔い」で寝こむのだろうか。

意外にも2-2の引き分けに終わったこの試合を、常にリードしたのはブレスト。ブレストに押しかられ

ルールと審判(1)

その試合を辛うじて持ちこたえたのは、サポーターたちの「念力」だったという感がしないでもない。マルセイユの2点はいずれも前半の終了直前に得たフリーキックから絞り出したものである。マルセイユ側に有利な笛が吹かれなければ「キン」というジェット機のエンジン音のような歓声が、幾重もの衝撃波となって、主審の全身に襲いかかる。

モード、シャンソン、トーキー、絵画、フランスは朝に夕に表情を演じ分けるが、フットボールを抜きに

してフランスは語れない。主審は引取る商売だ。選手は被害者意識の凝り固まりだから、両チームから等しくモテることはまずない。その上、大観衆と付き合わなければならないのだから大変だ。だが、ホームのチームにおもねたり、遠来チケットと三銃士を組んだアラン・ジレスが「オリンピック・ド・マルセイユ」にいる。

ボールゲームの構造的分類

ボールゲーム

攻守一体型

身体接触容認型

(フットボール、ラグビー等)

身体接触禁止型

(ハンドボール、バスケットボール等)

対面型

(バレーボール、テニス、卓球)

交替型

(野球、クリケット、アメリカン・フットボール)

(ゴルフ、ボウリング)

記録追求型



ヨットが帆を休めるマルセイユ旧港

扱うものが多いう特徴が浮かび上がってくる。一方、「分離型」ゲームは米国で生まれ、勝敗の行方に最大の価値を求めるので時間の制限ではなく、作戦タイムや選手交替の自由が認められ、また選手とボールの間にラケット、バットなどが介在する。もちろん、これらはすべてのゲームに当てはまるものではない。

必然的に審判も「一体型」においては、原則としてボールを追縦するのに対し、「分離型」では、定位にて静止した状態で判定を下すことになる。ルールの項目数は「一体型」よりも「分離型」の方が多いようである。

およそボールゲームの中で、フットボールの審判ほど、試合の結果に大きく影響するものはないと思っている。代表的なボールゲームに限定して、その構造的分類を試みることは、ルールや審判を理解する上で意味がある。

まず、スポーツとしてのボールゲームは、すべて欧米で生まれたと言ってよい。さらにゴルフなどを除けば、チームスポーツが王道的に多い。日本人は「団体主義」になじみやすいが、西洋人は「個人主義」だとする国民性論は、これをどう説明するだろう。ま、それとはもかく「1個のボールを対象として(2個以上のボールを同時に扱うゲームは見当らない)両者が攻撃や守備を繰り返して得点の多い少を競うもの」と、平たく定義しておこう。

それはさらに、一定のグラウンドの中で、両者の攻撃と守備が表裏の関係にある「攻守一体型」と、攻撃と守備の間に境界線が引かれた「分離型」に大別できる。

「攻守一体型」のゲームは、イギリスで生まれ、時間制が採用され、勝敗の結果よりも社交の精神に重きが置かれていること、天候に作用されることは少なく、選手の身体が直接ボールを

苦労が足りない易者なら、血液型を頼りに、審判にはA型人間が適していると言ふだろう。しかし、選手時代のボジションとは関係がありそうだ。動物的な感覚でゴールを奪うセンター・フォワードよりも、冷静沈着なプレーヤーが要求される「ハーフの底」あたりを務めた人が、ゲームをうまくコントロールするように思えるが、これも根拠あってのことではない。

「社会のあるところに法がある」の格言をもじれば、「ゲームのあるところにルールがある」ということになる。ゲームも「限界

この連載は西ドイツ、スイス、オランダ、フランス、イタリア5か国のフットボール事情を見聞した内容をお送りしているものです。

この連載は西ドイツ、スイス、オランダ、フランス、イタリア5か国のフットボールでは簡単な内容で間に合ったに違いない。

今日のルールは、選手を、審判を、観衆を、そして彼らがつくるゲームを、どんな目で見ているのだろうか。

統一 (うえのかつゆき 写真も)



マーカムSFホワイト  
カラー/ブラック×ホワイト・ブルー・レッド・グレー \*サイズ/20.0~27.0cm  
標準小売価格 ¥5,000



モントラン発。愛するサッカ一人へ。

TRAINING SHOES



モントラン株式会社 本社 〒653 神戸市長田区神楽町4丁目7-16 TEL(078)641-8881 東京支店 〒111 東京都台東区浅草橋3丁目10-8 TEL(03)862-5891 福岡営業所 〒816 福岡市博多区門司1丁目1-12 TEL(092)473-8881